



腸チフスについて

腸チフスは、チフス菌による感染症で、感染菌量が他の消化管感染症に比べてはるかに少量でも感染・発病するのが問題とされています。病原菌は患者や保菌者の糞便・尿に排泄されますので、これらに汚染された手指・食器・食品・水などから経口的に感染します。

症状は39～40℃の持続する発熱、全身倦怠感、便秘、下痢が見られ、病週がすすむと腸出血、腸穿孔もおこすことがあります。重症例では意識障害を来し、死亡することもあります。

流行状況は？

発展途上国に広く流行しています。世界で、毎年1700万人以上の患者が発生し60万人が死亡しています。我が国では毎年60～70例の発生が報告されています。半数以上が途上国で感染したと思われ、輸入感染症の傾向が強くなっています。

予防方法は？

一般的な食生活上の注意（手洗いを十分に、生水を避ける、屋台や手づかみでの食事に注意）に加え、途上国に長期滞在する場合は予防接種を勧めます。有効率70～90%のワクチン（精製Vi抗原ワクチン）0.5mlの1回の皮下注射で約3年間有効です。

